



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
インターネットでも  
ご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

# 第4回じん肺合同慰霊祭

福田明議員が  
来賓あいさつ

10月29日、全国じん肺同盟北茨城支部による「第4回物故者合同慰霊祭」が磯原あいばるホールでおこなわれました。今回は3年前の慰霊祭以降に亡くなられた26名の方の霊を慰めるべく施行され、約100名が参列しました。支部結成以

来20年を迎えますが、この間、129名が亡くなられています。来賓として、福田明議員は次のように述べました。「亡くなられた方々は、戦後日本復興の原動力であった炭鉱に働き、一山一家」といわれ、会社や家



## 30周年

「北茨城市民合唱団」の30周年記念演奏会が、10月29日、ふれあいセンターで開かれ、200名近い参加者が熱心に聴き入っていました。

県内でも数少ない混声合唱団です。雨情の里音楽祭や県合唱祭への参加などを続け、最近姉妹都市長野県中野市の「しんぺい合唱団」との交流もおこなっています。



常陸太田市にある事務所

自然災害などで農作物が滅収したときに、それを補償する仕組みが農業共済です。茨城北農業共済事務組合の議会が10月31日に常陸太田市で開かれました。

## 米の作柄「不良」

茨城県北の  
作況指数は  
**93**

族を守るために懸命に働いてきた人々です。同時に今年には市政50周年の節目の年ですが、今日の北茨城発展の基礎を築いた人でもあります。いわゆるエネルギー革命によって、炭鉱は

すべて姿を消し、炭鉱の存在も歴史の一コマとして風化しようとしています。しかし、私たちは決して忘れてはならないことがあります。それは、この地域の炭鉱で懸命に働き、じん肺という病に倒れた多くの方々がいしたことです。今後ともじん肺患者の支援と働く人たちのいのちと暮らしを守ることをお誓いします」

自然災害などで農作物が滅収したときに、それを補償する仕組みが農業共済です。茨城北農業共済事務組合の議会が10月31日に常陸太田市で開かれました。昨年年度会計の決算認定や今年度の補正予算が主な議題でした。鈴木やす子市議員の一人として、今年の水稲の作況や、被害の広がりや伝えられるイノシシの問題などについて質疑を交わしました。10月15日現在の今年の米の作況は、茨城県全体では97の「やや不良」、県北にかぎってみると93で「不良」となっています。日照不足やイモチ病の多発、獣害などが理由としてあげられています。



## 収穫祭 & どぶろく祭り マウントあかね

わら草履を編んでいたある方は、「この前は片方しかできなかったから、また来ちゃった」とか。小さなキネが用意されて、子どもたちもモチつきを体験していました。(10月29日)



## 県道拡幅

北茨城高校下のカーブ地点

県道里根神岡上線の、とくに北茨城高校の下のカーブ地点は道幅がせまく、かねて危険が指摘されてきました。このたび県の事業として拡幅工事ははじまりました。来年の春までには完了する計画です。